



**平成29年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域(2次分)】
22事業が内定しました**

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、南信州地域選定委員会による審査を経て、2次分を内定しました。

1 事業区分別の選定状況

事業区分		選定状況	
		件数	支援額(千円)
1	地域協働の推進	0	0
2	保健、医療、福祉の充実	4	3,197
3	教育、文化の振興	3	2,812
4	安全・安心な地域づくり	1	521
5	環境保全・景観形成	1	386
6	産業振興、雇用拡大 (小計)	10	13,370
(1)	特色ある観光地づくり	5	7,053
(2)	農業の振興と農山村づくり	1	2,599
(3)	森林づくりと林業の振興	1	1,070
(4)	商業の振興	1	392
(5)	その他	2	2,256
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	6,619
合計		22	26,905

【再掲】県全域又は地域ごとに重点的に推進するテーマに関する事業分

重点テーマ区分		件数	支援額(千円)
県	しあわせ×2(buy)信州運動の推進(地消地産)	1	392
県	人生二毛作社会の推進	0	0
県	信州ACEプロジェクトの推進	1	1,000
地域	広域観光の推進	0	0
地域	地域の特色ある産業の振興	1	1,070
地域	移住・定住、若者向けUターン就職の促進	4	10,782
地域	伝統芸能の継承	1	1,070
地域	安全・安心な暮らしの確保	1	521
地域	地域交通の確保・充実	1	882
合計		10	15,717

2 申請者区分別の選定状況

申請者区分	件数	支援額(千円)
市町村	8	12,165
広域連合等	1	2,599
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	13	12,141
合計	22	26,905

【参考】

- 当地域の要望状況:28団体から、28件 5,042万3千円の要望がありました。
- 選定結果を踏まえ、該当団体に対し、事業ごとの採否を付した書面により通知するとともに、選定した事業については、より効果的に実施していただけるよう適切な助言をしてまいります。
- 1次選定により既に交付決定した事業分を合わせた平成29年度全体の選定事業の状況は、裏面のとおりです。



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州
信州 destination キャンペーン
2017.7.1-9.30

しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)推進

南信州地域振興局企画振興課
(課長)矢澤 圭
(課長補佐)飯田 史晴 (担当)村松 弘崇
電話 0265-53-0401(直通)
0265-23-1111(代表)内線2316
FAX 0265-53-0404

平成29年度選定状況(1次・2次合計)

1 事業区分別の選定状況

事業区分		選定状況(1次交付決定額+2次内示額)	
		件数	支援額(千円)
1	地域協働の推進	4	3,161
2	保健、医療、福祉の充実	5	4,238
3	教育、文化の振興	18	25,719
4	安全・安心な地域づくり	5	5,162
5	環境保全・景観形成	7	7,824
6	産業振興、雇用拡大(小計)	30	46,867
(1)	特色ある観光地づくり	15	18,864
(2)	農業の振興と農山村づくり	6	12,359
(3)	森林づくりと林業の振興	2	1,751
(4)	商業の振興	3	6,507
(5)	その他	4	7,386
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	11	18,629
合 計		80	111,600

【再掲】県全域又は地域ごとに重点的に推進するテーマに関する事業分

重点テーマ区分		件数	支援額(千円)
県	しあわせ×2(buy)信州運動の推進(地消地産)	2	1,073
県	人生二毛作社会の推進	0	0
県	信州ACEプロジェクトの推進	2	2,041
地域	広域観光の推進	6	6,748
地域	地域の特色ある産業の振興	7	16,334
地域	移住・定住、若者向けUターン就職の促進	10	19,852
地域	伝統芸能の継承	7	12,988
地域	安全・安心な暮らしの確保	4	2,671
地域	地域交通の確保・充実	3	3,923
合 計		41	65,630

2 申請者区分別の選定状況

申請者区分	件数	支援額(千円)
市町村	29	39,538
広域連合等	4	8,344
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	47	63,718
合 計	80	111,600

平成29年度 地域発 元気づくり支援金 【南信州地域（2次分）】 選定事業一覧表

(平成29年7月31日現在)

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
1	保健・医療・福祉の充実	ソフト・ハード	多世代交流型こどもカフェ事業	特定非営利活動法人 Hug (松川町)	不登校や学習のつまずきなど課題を抱えた子どもたちのために「こどもカフェ事業」を行っている。活動場所に調理器具や食器がないため、スタッフが自宅から料理や食器を持ち寄り、また十分な机椅子もないため、町から借りて事業を行っている。このため、事業に必要な備品一式を買い揃える。 ①食器、調理器具、机椅子等 ②冷蔵庫	1,129	836	565	
2	保健・医療・福祉の充実	ハード	活き生きクライミング事業	松川町	廃校となった旧松川東小学校に地域住民と協力してスポーツライミングのウォールを設置して、スポーツ振興と健康増進を図る。また、地域のお祭りで体験会を開いたり、月2回のクライミング教室をおして、過疎化が進む生東地区の交流人口増加、活性化を図る。 ②クライミングウォール	825	550	550	
3	保健・医療・福祉の充実	ソフト・ハード	たかもりACEプロジェクト事業	高森町	高森町民が健康に関心を持ち、生活習慣病を予防していくため、健診、食育、運動を一体的に進めていく。本年度は体組成計を導入し、町が健康診断、指導を行うほか、町民と協働で体脂肪率の改善度を競い合うイベントを企画開催し、各地区で健康集会を行うなど、町民と共に自主的な健康管理の機運を高めていく。また、子育て支援施設に設置することで、20代～30代の若い母親、父親世代が、自分と子どものために健康管理することの大切さを学ぶ契機とする。 ①用紙代 ②体組成計	2,212	1,481	1,000	ACE
4	保健・医療・福祉の充実	ソフト・ハード	健康イチバン応援隊事業	キッチンおひさま(泰阜村)	村内の高齢者夫婦や独り住まいで調理に支障のある方に対し、泰阜村役場の福祉事業と連携して惣菜配達、料理教室を行い、村民が健康的な食生活を送れるよう支援する。併せて地域の見守り活動も行う。現在、豆腐と惣菜を別々の場所で調理しているため、施設を改修して調理場所を統合することで効率化を図り、全村への配達、見守りができる体制を整える。 ①豆腐づくりイベント材料等 ②冷蔵庫、施設改修	1,592	1,082	1,082	
5	教育、文化の振興	ソフト	丸山地区の歌をつくろう！プロジェクト	丸山まちづくり委員会(飯田市)	風越山や今宮の花火など、地域の誇りを歌にすることで地区民の郷土愛醸成を図り、相互の絆を深める。歌詞は地区民から意見を聞いて決定し、完成後は、まちづくり委員会の各種会議、文化祭や運動会等の行事で合唱するほか、公民館で放送したり、歌詞を題材にした学習会を行う。 ①録音・CD制作	443	332	332	
6	教育、文化の振興	ソフト	SORE Program 心の柔軟性を伸ばす子育てプログラム	感環自然村(飯田市)	子どもたちを敢えて困難な状況、不安な状況に置き、それに打ち負けない柔軟な心を育てる野外教育プログラムに取り組む。ウッドデッキやハンモックを使って障がい児と健常児がチームを組んでいっしょに活動することで、他者と協力すること、繋がることを同時に学ばせる。野外教育とウッドデッキ建設は、地区住民と協力して行う。 ①大工指導料、ハンモック	1,880	1,410	1,410	
7	教育、文化の振興	ソフト	お囃子後継者育成事業	河野大宮神社獅子・お囃子保存会(豊丘村)	鎌倉時代から伝わる民俗芸能のお囃子を継承するため、地元小学校と協力して、後継者育成に取り組む。これまで4年生以上を対象に行ってきた活動を、本年度から2年生以上を対象とし、範囲を広げて活動する。月2回程の定期練習に加え、お祭りや行事の前には学校の始業前後や夜間にも練習を行い、その成果を地域で披露する。 ①太鼓、笛、法被	1,338	1,070	1,070	伝統芸能
8	安心・安全な地域づくり	ソフト・ハード	地域で進めるモデル竹林整備事業	喬木村	交通安全、防犯、景観保全のため、村内の竹林のうち4箇所程度をモデル竹林として地区住民と協力して整備する。伐採した竹は破砕機でパウダーやチップに加工し、農地の土壌改良や竹の生育抑制に利用する。また、無煙炭化器と防災イベントストーブを購入して地区に貸し出し、竹炭を作ったり、竹を薪として利用できることを知ってもらい、竹林整備と竹の有効活用について啓発していく。 ①チェンソー・破砕機の講師謝金等 ②無煙炭化器、防災イベントストーブ	678	521	521	安全安心

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①: ソフト事業 ②: ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
9	環境保全・景観形成	ソフト・ハード	円満坊保存会(松川町)	円満坊環境整備事業	桜の名所である桜塚円満坊一帯の環境を整備するため、自治会と協力して竹林・雑木を伐採する。また、年配者が安全に上れるように石段に手すりをつける。 ①竹チップ破碎、②手すり設置	540	386	386	
10	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	観光ガイド(ご案内人)への情報教育とそれに伴う観光案内所内の情報環境整備	天龍峡温泉観光協会(飯田市)	天龍峡大橋の架橋を控え、名勝天龍峡の復活に向けて、情報化と外国人対応に取り組む。観光ガイド向けにタブレット、ブログ、英会話の講習会を行うとともに、観光案内所にタブレット、電子看板、無料wifiスポットを整備する。また、ホームページを更新するとともに英語ページを作成する。さらに地元中学生に観光ガイドを体験してもらい、地域一体で観光客をもてなす機運を高めていく。 ①ホームページ、タブレット(2台)等 ②電子看板	1,178	854	854	
11	特色ある観光地づくり	ソフト	遠山郷「サイクリスト受入れ」環境整備事業	飯田商工会議所 遠山郷支部(飯田市)	「道の駅遠山郷」を拠点に「しらびそ高原」に上る自転車周遊コースのマップを作成し、遠山郷各地区に自転車スタンドを設置して、サイクリストの受け入れ環境を整える。また、地元自転車競技チームの選手と一緒に走るサイクリングイベント開催する。 ①謝金、マップ(10,000部)、スタンド(30台)	1,452	1,088	1,088	
12	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	若者による地域活性化事業	with HIRAYA(平谷村)	平谷村の観光客増加と、地元若者の郷土愛醸成を目的に、若者中心に音楽イベントを企画、開催する。ステージは建設会社の指導を受けながら若者たちが製作し、次年度以降のイベントでも使用する。 ①出演料、施設使用料、音響設置料等 ②ステージ製作費	2,294	1,636	1,636	
13	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	売木村サポーター登録制度による村づくり「うる里サポーター制度」	売木村	人口減少が進むなか、村外の売木ファンが恒常的に地域活動に関われるようサポーター制度を作る。サポーター候補は村内イベントやボランティアのリピーター、移住検討者等で、マンパワーが必要な時に連絡し、サポートしてもらう。サポーターには認定カードや情報誌を送るなどの特典を付ける。本年度は村民とサポーターが協力して、今後の観光イベントの拠点となる岩倉キャンプ場の改修に取り組む。専門業者の力も借りつつ、できる限り自分たちの力で取り組む。 ①認定カード、情報誌、ピザ窯、トイレ壁木材等 ②トイレ改修	3,425	2,446	2,446	移住定住
14	特色ある観光地づくり	ハード	熊伏山に登ろう!	天龍村	信州百名山に選ばれた天龍村の熊伏山の登山道を整備し、秋の登山シーズン前に2回、村民有志で清掃活動を行う。観光協会と協働して清掃し、登山道や紅葉の様子をホームページを使ってPRする。また、村民だけで登る機会を別に設け、村民同士の交流と健康増進を図る。この取り組みを次年度以降も継続していく。 ②路面整備、安全柵設置	1,544	1,029	1,029	
15	農業の振興と農山村づくり	ソフト	都市との交流による南信州活性化事業	南信州広域連合	地域の基盤として持続可能な農業(農業者の所得向上、新規就農者の促進)を実現するとともに、交流人口を増やして、都市企業のダーチャ(菜園付き別荘)を呼び込み、地域の遊休農地、空き家等の活用につなげていく。本年度は首都圏及び中京圏の企業を招待して南信州を体験してもらい、マーケティング会社の指導を受けて南信州14市町村職員がプレゼンを行う。マーケティング会社と企業から栽培品種や販路拡大についてアドバイスをもらうほか、企業とはパートナーシップを構築してダーチャ誘致につなげる。 ①招待企業旅費、企画支援業務委託料等	3,249	2,599	2,599	移住定住
16	森林づくりと林業の振興	ソフト	薪を通じた多世代に渡る主体的な未利用材の木質バイオマス利用の推進事業	特定非営利活動法人 森の民ねばりん(根羽村)	森林未利用材の有効活用を進めるため、従前より短い未利用材が入るメッシュパレット(カゴ)を導入し、山から搬出する。また、気軽な薪利用の仕方を学んでもらうため、林業に縁のない住民や都市生活者を対象に、ロケットストーブ講習会を開催する。 ①メッシュパレット(100個)、講習会の開催	1,339	1,070	1,070	産業
17	商業の振興	ソフト	地域の活動を発信し、仲間の活動がより活性化していく事業	笑ったり寄ったり(飯田市)	長野原地区の紹介、地区の仲間たちの活動、そして自分たちが作る加工品に対する思いやこだわりを伝えるため、ホームページを作って発信する。また、長野原地区が横浜反町と交流しているため、地区の仲間と反町に出かけ、初の竹灯籠イベントを行う。 ①ホームページ制作、イベント参加	491	392	392	しあわせ×2

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
18	その他産業振興	ハード	就労継続支援B型事業所 障がい者雇用促進事業	株式会社 こもれび(松川町)	障がい者の工賃アップを目指して、泰阜村や大鹿村など地元食肉加工所から鹿肉等を仕入れ、ペットフード用のジャーキー製造に取り組む。また、地域の農家から野菜を仕入れて、ペットフード用の野菜ふりかけ製造にも取り組む。 ②加工用乾燥機他	2,797	1,864	1,864	
19	その他産業振興	ソフト	高森町の農・商・工・観連携の観光客を呼べるメニューと商品開発事業	高森町商工会(高森町)	市田柿を中心に高森町らしい特産品(加工食品)を開発し、町の活性化を図る。外部専門家と町内協力者で委員会を立ち上げ、開発したメニューのレシピを商工会員の食品会社や菓子会社に公開することで、町全体に取り組みを広げていく。 ①専門家謝金、外注加工費	523	392	392	
20	その他地域の元気	ハード	駒場線のラッピングをとおり、まちづくりへと連携する事業	阿智村	路線バス駒場線存続のため、阿智高等学校生徒と協力してバスラッピングを行う。デザインした車両を運行し続けることで、地域に密着した公共交通を目指す。車両完成時には、子どもを対象にしたバスの乗り方教室や、利用促進、定住促進に向けての検討会を行う。 ②バスラッピング	1,177	882	882	地域交通
21	その他地域の元気	ハード	移住定住促進!下條村お試し住宅整備事業	下條村	下條村への移住、定住、Uターン者の増加を目指し、村が空き家を購入して「お試し住宅」として整備する。地域の有志ボランティアが家財撤去等の片付けを行うほか、体験者に対しては、役場とボランティアが協力して村の総合案内をしたり、行事への参加を促すなど、下條村を最大限理解してもらえるサポートをしていく。 ②空き家改修	3,611	2,708	2,708	移住定住
22	その他地域の元気	ハード	「お試し住宅」設置事業	豊丘村	豊丘村への「移住定住・就農」を促進するため、村が空き家を改修して、就農希望者のための「お試し住宅」の整備に取り組む。市田柿など特産物の多忙期に合わせた体験が可能になることで、就農希望者にとっては、より具体的な意識付けが可能になる。改修時の清掃、就農希望者に対するサポートなどは、地域住民が協力して事業を進めていく。 ②空き家改修	4,039	3,029	3,029	移住定住
南信州地域振興局 計					22 事業	37,756	27,657	26,905	